

新発田市 令和7年度 第11回定例記者会見

- 1 日 時 令和8年2月2日(月)午後3時～
- 2 場 所 ヨリネスしばた501会議室
- 3 内 容

【市長発表項目】

○インバウンド誘客拡大を目指した韓国トップセールスの実施

○出張！なんでも鑑定団in新発田市の開催

○「有機米フェスティバル with おばたのお兄さん」開催

○しばたオイスターバー開催中！

○第2回 華道家 假屋崎省吾の世界展 in 蔵春閣

○大峰保育園新園舎開園式

【その他】

- 今・得キャンペーン飲食プランの実施について
- 月岡芸妓を、お得に体験しませんか？
- 「いちご一会めぐり」高校コラボメニューの試食会を小学校で実施します！
- 長岡技術大学と市が地域振興のためのワークショップを開催！
- 健康づくりキャンペーンを開催します。
- 生成 AI 活用実践セミナー
- 多文化共生コーディネーター主催イベント「ベトナム交流イベント～つくる・味わう・つながるベトナム～」を開催します
- 『令和7年度 新発田市遺跡出土品展』の開催について
- 蒔谷虹児記念館企画展「美しき詩画集の世界展」
- 第11回『春 RUN 漫』しばたジョギング大会 in 加治川桜堤

あいさつ

○足元の悪い中、出席いただきありがとうございます。ちょうど選挙の最中ですから、記者の皆さんの関心はそちらに向いているのではないかと思います。お集まりいただき感謝しております。

○大変な大雪となりました。除排雪費に5億円ほど予算を組み、3億円専決をさせていただきましたが、それも尽きようとしており、追加の専決をしなければならない状況で、財政のことを考えると、非常に頭が痛くなるところであります。

○明日（2月3日）は、節分会となります。私の地元である菅谷のお不動様は、「鬼は外」とは言わず、「福は内」としか言いません。方々の家々から追われた鬼がお不動様に来てもらい、まっとうな人間になるよう改心させるということでもあります。ですから菅谷には鬼がいないということで、「鬼は外」とは一切言いません。明日11時から地元の皆さんが豆まきを行います。報道機関の皆様には、ぜひ菅谷のお不動様にお越しいただき、豆まきをしている姿を見ていただきたいと思います。

それでは、会見項目を説明いたします。

はじめに、インバウンド誘客拡大を目指した韓国トップセールスの実施についてです。

○都市部では、活況を呈するインバウンド市場ではありますが、当市においても、その旺盛な需要を取り込み、地域経済の活性化につなげてまいります。

○現在、当市のインバウンドの稼ぎ頭は、韓国です。新潟空港からの立地を生かした多彩なゴルフプランと、通年観光による定期的な団体ツアーによって、今年度の宿泊数は、昨年度を超える1,700泊前後の見込みとなるなど、全体の約3割を占めております。

○韓国へのトップセールスは、平成31年4月以来7年ぶりとなります。今回は、夏ダイヤが増便される予定であるという情報を受け、当市にとって好調な韓国市場にいち早く攻勢をかけ、増便後の需要の取り込みを精力的に行っていくことをねらいとします。

○トップセールスでは、ゴルフプランを販売するエージェントや、県内観光地を周遊する団体ツアーを造成するエージェントなどと私自らが商談を行い、誘客促進の取組を進めます。

○また、今回は、宿泊先となる月岡温泉旅館や旅行の着地手配を担う市観光協会も同行し、それぞれのステークホルダーが新発田市の魅力を余すことなくアピールしてまいります。

次に、「出張！なんでも鑑定団in新発田市の開催」についてです。

- 「開運なんでも鑑定団」は1994年4月の放送開始から30年以上が経っても、根強い人気を誇るテレビ東京の番組であります。新潟では、NSTで放送されており、視聴率も高いと伺っております。
- この度、「開運なんでも鑑定団」の人気コーナーである、「出張！なんでも鑑定団」が当市で開催する運びとなりました。当市での開催は、平成10年に城下町400年を記念して開催して以来、今回が2度目となります。
- 収録は新発田市民文化会館で、5月31日（日）を予定しており、放送は、テレビ東京の放送エリアである関東広域圏や、大阪、愛知、北海道といった大都市圏をカバーする系列局で、7月中旬頃となるよう、制作会社と調整を進めております。
- これは、当市最大のイベントである城下町しばたま祭り、そして、今年で運行300周年を迎える新発田台輪を御覧いただける8月に照準を合わせたものであります。
- この度の収録は、新発田台輪運行300周年を冠としまして、PR映像では、台輪はもちろんのこと、新発田城や蔵春閣といった城下町の歴史と風情を持つ当市の魅力をふんだんに取り入れることで、新発田まつり期間中に、新発田へ訪れてみたいと思っただけの映像に仕上げたいと考えております。
- また、この番組を通じて新発田を全国に発信することで、市民の皆様や、市外におられる当市出身の皆様にも、誇れるまちということを再認識してほしいと思っていますところでもあります。

次に、「有機米フェスティバル with おばたのお兄さん」の開催についてです。

- 当市では、令和4年度にオーガニック SHIBATA プロジェクトを立ち上げ、令和6年度にはオーガニックビレッジ宣言を行い、更なる有機農業の推進を進めているところです。
- この度のイベントは、魚沼市出身でスポーツフードスペシャリストの資格を持ち、食への関心が高いアスリート芸人・おばたのお兄さんをお招きし、新発田市の有機農業を盛り上げていただくことで、消費者への PR、生産拡大につなげることを目的としております。
- 有機米を食べたり、有機米について学んだりすることで、有機米の認知度向上を図ることを目的としております。また、御来場の皆様に有機米の美味しさを広めていただいて、生産者の皆様には有機米栽培の新規取組や、生産意欲の向上を図ることで生産拡大につなげていきたいと考えております。
- 2月28日（土）にヨリネスしばた札の辻広場での開催を予定しており、300個限定の有機米おにぎりのふるまい、おばたのお兄さんと有機米生産者によるトークショー、有機米などの景品が当たる腕相撲対決・じゃんけん大会などを予定しております。沢山の皆様の御参加をお待ちしております。

次に、しばたオイスターバーの開催についてです。

- 新発田出身の赤穂浪士・堀部安兵衛がつないだ縁をきっかけに、2014年から始まった「しばたオイスターバー」も今年で13回を迎える冬の恒例行事となりました。今回は、市内35店舗の料理人が自慢の腕を振るい、赤穂牡蠣を使ったオリジナル絶品メニューを提供します。
- 今年の牡蠣は歴史的不漁ではありますが、これを逆手にとり、持続的な牡蠣文化を追求する「サステナブル・オイスター」を掲げました。「少ない牡蠣で、しっかり牡蠣味！」をテーマに、各店舗が牡蠣のポテンシャルを極限まで高めた、地球とお財布に優しい節約メニューの開発に加え、本来捨てられる牡蠣の殻を再利用したコーヒーやキャンドルなど、資源を余さず使い切る新たな取組をお楽しみください。
- また、安兵衛ゆかりの2月11日を新発田の「牡蠣の日」とし、宿泊費を実質無料とする、全国でも類を見ない宿泊キャンペーンや、牡蠣好きのための婚活イベント「牡蠣コン」など、多角的な企画で「牡蠣の日」を盛り上げてまいります。
- 地球温暖化等の影響で水産資源の確保が難しくなる中、本事業は単なる飲食イベントに留まりません。希少な資源を大切に味わう「持続可能なモデル」を新発田から発信することで、生産者と消費者の共生を図り、次世代へ豊かな食文化を継承してまいります。
- 本日は、しばたオイスターバー実行委員会の山崎さんと関根さんが牡蠣料理を持ってきておりますので、イベントについてコメントをいただきたいと思います。
 - ・山崎実行委員長からのコメント

次に、第2回 華道家 假屋崎省吾の世界展 in 蔵春閣についてです。

- 国登録有形文化財の蔵春閣で、華道歴40周年を超えた假屋崎省吾さんの華道展を開催いたします。
- 一昨年の11月に初めてこの華道展を開催しましたが、建物の趣きや作品との相性の良さから、假屋崎さんには蔵春閣を気に入っていただくとともに、開催10日間の来場者数は5千人を超えるなど、大変な賑わいとなりました。
- 假屋崎さんからは、前回は秋であったことから、ぜひ新発田の春の息吹を感じられる時期にも開催したいと意欲が示され、この度、花盛りとなる季節を先取りして、新発田の春の花々との共演による第2回目の華道展を開催いたします。
- 開催期間は、3月19日（木）から29日（日）までとなります。この間、毎日ご本人が会場にお越しになり、1日3回のデモンストレーションでは、独創的でダイナミックな生け花を間近で楽しむことができるほか、グッズ販売などで会場を盛り上げていただきます。また、持ち前の気さくな性格でサインや記念撮影などにも気軽にご対応いただけるということです。
- 新発田産のチューリップやユリの魅力をどのように引き出していただくのか、また、全国各地の旬の花とのコラボレーションなど、見どころ満載です。新発田の春がここから始まります。
- なお、3月19日（木）午後1時からオープニングセレモニーも予定しております。詳細が決まり次第お知らせしますので、ぜひ取材にお越しいただきたいと思います。

最後に、大峰保育園新園舎開園式についてです。

- 市立保育園では、ななは保育園以来となる16年ぶりの新園舎の開園であります。その大峰保育園の特長は、やはり環境に配慮した県内自治体初、公立保育園では全国3例目の『ZEB^{ゼ ブ}』認証を取得した保育園であります。
- 当市は令和3年6月に「2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指し、脱炭素社会の実現に向けて取組を進める」、いわゆる『ゼロカーボンシティ宣言』を行いました。
- この宣言の下、老朽化した大峰保育園の建替えにあたり、環境省の補助金の採択を受け、『ZEB^{ゼ ブ}（ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング）』の取得を目指しました。
- 具体的には、高性能な断熱材や窓の複層ガラス、高効率エアコン、LED照明、太陽光発電設備（55kW）、蓄電池（6.3kW）などを導入することで、災害時には乳幼児とその家族を受け入れられる福祉避難所として機能させるとともに、新発田市産の木材を利用するなど、SDGsの推進にも貢献しました。
- 新園舎は、令和7年12月19日に竣工し、保育の開始は令和8年2月9日、開園式を2月14日に開催します。ゼロカーボンの最先端を行く画期的な園舎を是非御覧いただきたいと思います。

本日お知らせする情報は以上にですが、他にもお配りした資料のとおりにイベントなどを予定しております。報道各社の皆様におかれましては、一つでも多く記事に取り上げていただき、新発田市を御支援いただきますよう、よろしくお願いいたします。